

2014 年 5 月 20 日

各党党首宛 (10 件)
大手マスコミ宛 (7 件)

国際婦人年連絡会 (全国組織 35 女性団体で構成)

世話人 橋本 葉子

実生 律子

山口みつ子

北ナイジェリアにおいて誘拐され、行方不明となっている少女たちを
一刻も早く安全に解放することを要望します

国際婦人年連絡会は、『ボコ・ハラム』によるキリスト教徒少女たちの誘拐を知り、
驚愕し、少女たちの身の安全について深く憂慮し、5 月 14 日の定例総会において私
たちは人権を尊重する立場から首謀者の戦略を強く非難します。

遑って、4 月 14 日に北ナイジェリア、ボルノ州チボックの学校寄宿舎が襲撃され、
200 人を超す少女たちが武装集団により誘拐されただけでなく、1 ヶ月以上経った
現在でも大部分の少女たちの行方が不明であるという事実が報道されました。

キリスト教の学校にいたことで誘拐された彼女たちがイスラム教徒に改宗し、ある
いは、花嫁として売られ、人身売買されているという報道を看過できません。

女子差別撤廃条約に表明されている女性と少女の人権を侵害する者を強く非難す
るのみならず、『ボコ・ハラム』が行ったとされ、あるいは、自ら行ったと主張するさ
まざまな残虐行為は、ジェンダーに基づく暴力であり、宗教という名目であっても、
許されることではありません。

私たちは、少女たちが無事解放されることを願う世論を喚起します。

なお、このことに関し政府はじめ関係当局は少女たち全員が一刻も早く安全に解放
されるよう積極的に取り組まれるよう強く願っております。

(各党党首に同文要望書を送付)